

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 二級河川瀬野川水系熊野川支川1外砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 ダム 構造物基礎

ボーリング名	BorNo.4		調査位置	広島県安芸郡熊野町 地内(熊野川支川1)			北緯	34° 21' 10.7938"						
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	令和3年 6月29日～ 令和3年 7月 5日		東経	132° 35' 02.0872"						
調査業者名				主任技師			現代理人							
孔口標高	TP	275.90m	角			方			地盤勾配	25 水平 0°	使用機種	東邦地下工機 DO-C型		
総削孔長	10.23m		度			向			エンジン	ヤンマー NFD-13ER型		ポンプ	東邦地下工機 BG-3C型	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位/測定月日	標準貫入試験						試験採取		室内試験	削孔月日									
											深度-N値図		N	深	100mm毎の打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量			深	試験採取方法							
				砂質土	暗褐 rd2				表土及び崩積土 ・最上位は草木根混じる暗褐の腐葉土 ・砂は細-中粒砂、細粒分を伴う ・φ20mm程度以下の細-中粒及び鉱物片を含む ・場所的にφ50mm程度以下の基岩同質のクサリレキが点在		0	10	20	30	40	50	60	9	1.15	2	4	3	9	300					
	273.20	2.70		硬湿り砂質土	黄褐 rd3				更新世後期崖堆積物 ・場所的にクサリレキ~風化岩塊を挟む ・隙はφ75mm程度以下の基岩同質礫が混入 ・確認石長L=10cm程度の玉石が点在 ・隙間を充填する基質は中-粗粒砂であり細粒分を伴い粒度不均一									6	2.15	2	2	2	6	300					
	271.40	4.50		花崗閃緑岩	灰褐				中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩風化土 ・原岩組織は明瞭に残存するが、長石類及び熱水脈で粘土化著しい ・採取試料は土柱状を呈し、岩芯まで軟質化し指圧で凹む ・岩級区分はDL-DM級(土砂)に分級される ・風化変質が進行して岩質は著しく軟質化										31	3.15	6	8	17	31	300				
	268.90	7.00		花崗閃緑岩	灰褐				中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石類及び熱水脈で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し手で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化 ・岩級区分はDH級(軟岩I)に分級される											19	4.15	6	6	7	19	300			
	265.67	10.23																30	5.15	8	10	12	30	300					
																		39	6.15	9	13	17	39	300					
																		50kL	7.15	19	23	8	50	230					
																		50kL	8.15	22	28		50	200					
																		50kL	9.10	29	21		50	160					
																		50kL	10.10	35	15		50	130					
																		50kL	10.23	30			130						